 令和2年度磐田市当初予算

優先施策（新規・拡充事業）



財 政 課

令和2年2月

令和2年度磐田市当初予算

優先施策（新規・拡充事業）

磐田市では、次の時代に自信をもって引き継ぐことができる、明るく元気な磐田市、どの分野においてもバランスよく発展した「総合カナンバーワン」のまちを目指し、令和2年度当初予算の基本目標を、「より暮らしやすい磐田市へ！ 市民第一で、さらに挑戦する磐田」とし、この基本目標を推進するため、令和2年度は、市政の重点目標として次の3点を設定しました。令和2年度磐田市当初予算（案）は、これを踏まえて作成されています。

令和2年度 市政の重点目標

①「総合カナンバーワンを目指したまちづくり」

まちづくりは人づくり、地域づくりの考えのもと、市民の生活に密着した取り組みを進め、全体のバランスのとれた、「総合カナンバーワンのまち」を目指します。

②「持続可能な行財政基盤の確立」

国の合併特例による支援措置の縮小や人口減少に伴う税収減などにも十分対応できる行政の体質、組織のあり方、財政の仕組みを構築します。

③「将来を見据えた成長・発展の基盤づくり」

次の時代へ引き継ぐための成長戦略、将来の発展につながる取り組みを一つひとつ着実に実施します。

優先施策（新規・拡充事業）の紹介

ここでは、令和2年度磐田市当初予算（案）の中から、主に新規事業や拡充事業を中心に挙げた事業を4つの優先施策に分けて紹介します。



子育て支援・教育の充実

- ながふじ学府一体校の建設推進・完成
- ◎向陽学府一体校の基本構想・基本計画に着手
- ◎みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」
- ◎東部地区子育て支援センターの建設
- ◎里親への支援制度の創設
- 産婦健診の助成回数の拡大
- ◎病児保育の開始
- こども園・小規模保育施設整備への補助
- ◎民間園の保育士宿舍借り上げ支援制度の実施

市民生活の安全・安心の確保

- ◎豊田支所等の改修による防災拠点施設の整備
- 海岸堤防の整備推進
- ◎被災者生活支援補助制度の創設
- 大島排水ポンプ場の整備推進
- ◎重度身体障害者・難病者防災用具給付制度の拡充
- ◎高齢者の自動車急発進抑制装置設置への補助制度の創設
- ◎公会堂の長寿命化（改修）に対する補助制度の創設
- ◎磐田市立総合病院 放射線治療器の更新

地域づくりの推進と福祉の充実

- （仮称）磐田市文化会館の建設工事の推進
- ◎（仮称）竜洋西会館の建設
- ◎東京2020オリンピック・パラリンピック関係イベントの実施
- ジュピロ磐田アウェー戦応援バスツアーの実施
- ◎終活おうえん窓口の開設
- ◎75歳以上の方への人間ドック助成制度の創設
- ◎乳がん検診の対象年齢の拡大
- ◎骨髄移植ドナーへの助成制度の創設
- ◎高齢者の補聴器購入助成制度の創設
- ◎認知症高齢者等の損害賠償責任保険制度の導入

産業の育成と都市基盤の整備

- ◎今之浦市有地・今之浦公園の一体的な公園整備
- 新東名磐田スマートICの設置推進
- 旧グリーンセンター跡地の公園整備の推進・完成
- ◎磐田市情報館のリニューアル
- 次世代型農水産業の立地推進
- ◎「未来の農業」連携懇話会の設置
- ◎特産品（海老芋）承継事業の実施
- ◎竜洋東地区における農業基盤整備に着手
- 大学生インターンシップフェア、転職・再就職フェアの開催

※「◎」が付いた事業は、新規事業です。

1. 子育て支援・教育の充実

☆ 未来を担う子どもたちが優しくたくましく成長するよう、妊娠から出産、子育てまで継続した子育て支援の充実を図るとともに、家庭や地域と連携して、子どもたちを守り育てるための教育施策を推進します。

(単位：千円)

項目 〔事業名〕		主な内容	予算額	所管
1	ながふじ学府一体校の建設推進・完成 〔ながふじ学府新たな学校づくり整備事業〕	令和3年4月開校に向け、ながふじ学府（豊田中学校区）における小中一体校の建設工事を進める。	2,981,921	教育総務課
2	向陽学府一体校の基本構想・基本計画に着手 〔新たな学校づくり整備事業〕	向陽学府における一体校整備に向け、地域・保護者の代表等による検討会での協議をもとに、基本構想・基本計画の策定を行う。	5,000	新規 教育総務課
3	みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」 （ 小学校新入学と進級の小学生にエール「給食費の1か月無償化」の実施 ）	食品ロスの削減に向けた世界的な取り組みが進む中、小学生のころから食や学校給食のありがたさ、大切さ、食育の重要性等を児童・保護者・家庭等で考え、再認識するための環境づくりを進めるとともに、進級・進学等で保護者の経済的負担が大きい時期に、少しでも市として応援の気持ちを届けるため、4月を『みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」』と位置づけ、小学校給食費の1か月無償化に取り組む。	39,802 ※無償化による給食費の保護者負担金減少額	新規 学校給食課
4	東部地区子育て支援センターの建設 〔子育て支援センター施設整備事業〕	子育ての負担軽減や、子育てしやすい環境づくりの促進を図るため、子育て支援センターがない東部地区へ新たに整備する。	65,258	新規 こども未来課



1.ながふじ学府一体校の建設推進・完成
(R1.12月現在の様子)



3.みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」

(単位：千円)

項目 〔事業名〕	主な内容	予算額	所管
5 里親への支援制度の創設 〔児童虐待防止事業〕	子どもに関する悲惨な事件が問題となる中で、子どもたちのたくましい成長を支えている里親の方を支援するため、小学校・中学校・高校の入学という節目に当たり補助金を交付する制度を創設する。	100	新規 こども未来課
6 産婦健診の助成回数の拡大 〔妊産婦・乳幼児健診事業〕	出産直後の母子に対する支援体制をより充実させるため、これまでの産後2週間健診に加え新たに1か月健診を助成対象とする。	10,560	こども未来課
7 病児保育の開始 〔民間認可保育園等運営費補助事業〕	子育て家庭への支援をさらに推進するため、病気の回復期に至っていない児童を預かる「病児保育」を新たに実施する。	17,091	新規 幼稚園 保育園課
8 こども園・小規模保育施設整備への補助 〔民間認可保育園施設等整備事業・小規模保育等事業〕	保育ニーズに対応した受け入れ体制の充実を図るため、こども園及び小規模保育施設の新設に係る整備費を補助する。(各1園分)	375,358	幼稚園 保育園課
9 民間園の保育士宿舎借り上げ支援制度の実施 〔民間認可保育園等運営費補助事業〕	増加する保育ニーズに対応するため、保育士の確保対策として、新たに民間園の保育士が宿舎(アパート等)を借りる場合の家賃補助制度を創設する。	10,800	新規 幼稚園 保育園課



4. 東部地区子育て支援センターの建設
(既存の子育て支援センターの様子)



8. こども園・小規模保育施設整備への補助
(既存の小規模保育施設)

2. 市民生活の安全・安心の確保

☆ 自助・共助・公助の考え方のもと、地震や豪雨等、頻発する自然災害に対する防災・減災対策を進めるとともに、消防・救急体制の充実、防犯、交通安全対策を推進します。

(単位：千円)

項目 〔事業名〕	主な内容	予算額	所管
1 豊田支所等の改修による防災拠点施設の整備 〔豊田支所等施設改修事業〕	近年、風水害や地震等の自然災害が頻発している状況を踏まえ、豊田支所を防災備品等を受入・保管する拠点施設として改修することにより、防災力の強化を図るとともに、アミューズ豊田及び豊田福祉センターの改修を併せて進めることで、市民の利便性の向上と施設の有効活用を進める。	350,036	新規 秘書政策課
2 海岸堤防の整備推進 〔海岸堤防整備事業〕	第4次地震被害想定レベル2（想定津波高最大約12m）の津波に対応する海岸堤防の整備を引き続き推進するため、令和2年度は、海岸防災林工区における枯損していない区域等の整備や、海岸保全工区（スズキテストコース南）における設計業務（県へ委託）に着手する。	785,930	農林水産課
3 被災者生活支援補助金の創設	昨今の激甚化・広域化する自然災害を踏まえ、市民がさらに安全に、安心して生活できるよう、国や県の支援制度に該当しない被災者のうち、住宅の半壊に対し、生活支援制度を創設する。	—	新規 危機管理課・福祉課
4 大島排水ポンプ場の整備推進 〔下水道事業会計〕	豊浜地区の浸水対策を推進するため、令和2年度は大島排水ポンプ場樋管工事を実施する。	200,000	道路河川課



1. 豊田支所等の改修による防災拠点施設の整備
(現在の豊田支所)

(単位：千円)

項目 〔事業名〕		主な内容	予算額	所管
5	重度身体障害者・難病患者防災用具給付制度の拡充 〔在宅障害者援護事業〕	現在、人工呼吸器を使用する在宅の身体障害者や難病患者に、災害時に必要となる発電機等の購入費用を補助しているが、新たに、酸素濃縮器等使用者を対象者に加え、対象用品についても、蓄電池等を追加し、拡充を図る。	1,800	新規 福祉課
6	高齢者の自動車急発進抑制装置設置への補助制度の創設 〔交通安全啓発事業〕	アクセルとブレーキの踏み間違いによる高齢運転者の重大事故を未然に防ぐため、自動車への後付け急発進抑制装置の設置に対する補助制度を創設する。	1,000	新規 地域づくり 応援課
7	公会堂の長寿命化(改修)に対する補助制度の創設 〔コミュニティ施設整備費補助事業〕	災害時の一時避難場所としての重要性が増している地区公会堂の長寿命化を図るため、外壁や屋根の改修経費に対する補助制度を創設する。	2,070	新規 地域づくり 応援課
8	磐田市立総合病院 放射線治療器の更新 〔病院事業会計〕	地域住民が安心して暮らしていけるよう、必要な医療提供体制・医療機能の充実を図るため、導入から8年が経過する2台の放射線治療器のうち1台を更新する。	657,800	新規 経営企画 課



2. 海岸堤防の整備推進（福田地区の整備状況）



8. 磐田市立総合病院 放射線治療器の更新
(現在導入されている放射線治療器)

3. 地域づくりの推進と福祉の充実

☆ 交流センターを拠点とした地域づくりやスポーツ・歴史・文化に親しむことができる環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で健康に安心して暮らせるように、福祉サービスや地域医療体制の充実を図り、地域で支え合う体制づくりを進めます。

(単位：千円)

項目 〔事業名〕	主な内容	予算額	所管
1 （仮称）磐田市文化会館 の建設工事の推進 〔（仮称）磐田市文化会館整備事業〕	令和4年開館に向け、令和2年度は建物本体の建築工事を進める。	1,250,763	文化振興課
2 （仮称）竜洋西会館の建設 〔交流センター等施設整備事業〕	竜洋交流センターのサブセンターとしての役割を果たす施設として、（仮称）竜洋西会館の建設工事を進める。	62,595	新規 地域づくり 応援課
3 東京2020オリンピック・ パラリンピック関係イ ベントの実施 〔戦略的スポーツイベント活用事業〕	今夏に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るため、聖火リレーへの対応や出場選手壮行会、パブリックビューイングなど、各種イベントを実施する。	7,945	新規 スポーツ 振興課
4 ジュビロ磐田アウェー戦 応援バスツアーの実施 〔ジュビロ磐田ホームタウン推進事業〕	1年でのJ1復帰を後押しするため、アウェーゲームの応援観戦バスツアーを実施する。	8,728	スポーツ 振興課
5 終活おうえん窓口の開 設 〔各種専門相談事業〕	市民相談センターに「終活おうえん窓口」を開設し、関係機関との連携やエンディングノートの作成・配布などを進めることで、市民の老後の不安を解消し、本人と家族が安心して余生を過ごせるようサポートする。	639	新規 広報広聴 シティプロ モーション 課



1.（仮称）磐田市文化会館の建設工事の推進
（完成イメージ（正面））



3.東京2020オリンピック・パラリンピック
関係イベントの実施
（リオオリンピックパブリックビューイングの様子）

(単位：千円)

項目 〔事業名〕	主な内容	予算額	所管
6 75歳以上の方への人間ドック受診費用の助成制度の創設 〔後期高齢者健康診査事業〕	生活習慣病及びがんの早期発見・早期治療による、健康増進や健康寿命の延伸などを目的として、後期高齢者医療の被保険者に対し、人間ドック受診費用の助成制度を創設する。	5,250	新規 健康増進課
7 乳がん検診の対象年齢の拡大 〔がん等検診事業〕	乳がんの早期発見・早期治療を図るため、現在の40歳以上としている検診対象年齢に、20代～30代を追加する。	4,024	新規 健康増進課
8 骨髄移植ドナーへの助成制度の創設 〔若年がん等支援事業〕	骨髄移植への理解と骨髄ドナー登録の推進を図るため、骨髄等の提供を行う市民に対する助成制度を創設する。	1,050	新規 健康増進課
9 高齢者の補聴器購入助成制度の創設 〔高齢者在宅福祉事業〕	高齢者が聴力低下により自宅に閉じこもりにならないよう、70歳以上の方を対象に補聴器の購入費用を助成することで、高齢者の外出及び地域交流を支援する。	3,000	新規 高齢者支援課
10 認知症高齢者等の損害賠償責任保険制度の導入 〔認知症高齢者等個人賠償責任保険事業〕	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症高齢者等が事故で第三者に負わせた損害を補償する賠償責任保険に、市が保険契約者となり加入する。	457	新規 高齢者支援課



7.乳がん検診の対象年齢の拡大



9.高齢者の補聴器購入助成制度の創設



10.認知症高齢者等の賠償責任保険への加入

4. 産業の育成と都市基盤の整備

☆ 既存産業の活性化や創業・新産業の創出などにより雇用を確保するとともに、生活基盤や道路・公共交通などのネットワークの整備を進めます。

(単位：千円)

項目 〔事業名〕		主な内容	予算額	所管
1	今之浦市有地・今之浦公園の一体的な公園整備 〔今之浦市有地等公園整備事業〕	今之浦公園及び今之浦市有地を新たな交流、にぎわいづくりの拠点とするため、イベントスペース等も設置した一体的な公園として整備する。	1,035,017	新規 都市整備課
2	新東名磐田スマートICの設置推進 〔新東名磐田スマートIC設置推進事業〕	早期供用開始に向け、高速道路との連結工事やアクセス道路工事、案内標識設置工事などを実施する。	443,707	都市整備課
3	旧クリーンセンター跡地の公園整備の推進・完成 〔クリーンセンター周辺環境整備事業〕	子どもからお年寄りまで、安全で安心して使うことができる、多目的広場を中心とした公園を整備する（令和2年10月末完成予定）。	130,491	ごみ対策課
4	磐田市情報館のリニューアル 〔情報館施設管理事業〕	テレビ・ラジオ放送などを活用した市内外への情報発信を行う拠点として、オープンから10年を経過した磐田市情報館（ららぽーと磐田1階）のリニューアルを行う（令和2年6月オープン予定）。	19,990	新規 広報広聴シティプロモーション課
5	次世代型農水産業の立地推進〔次世代型農水産業立地推進事業〕	新しい技術を活用した次世代型農水産業が新しい産業の柱となるよう、補助金の交付などにより立地に向けた支援を行う。	593,298	産業政策課



1. 今之浦市有地・今之浦公園の一体的な公園整備



2. 新東名磐田スマートICの設置推進
(完成イメージ)

(単位：千円)

項目 〔事業名〕	主な内容	予算額	所管
6 「未来の農業」連携懇話会の設置	令和2年4月の静岡県農林環境専門職大学・短期大学部の開学を踏まえ、「未来の農業」連携懇話会を設置することなどにより、本市のものづくり技術との農工連携により、新たな基幹産業の創出を目指す。	—	新規 産業政策課・農林水産課
7 特産品(海老芋)承継事業の実施 〔地域農業マスタープラン推進事業〕	本市の特産品である海老芋の栽培農家の減少、高齢化に対応するため、JAや生産者等と連携し、担い手育成や承継事業の仕組みを構築し、日本一の産地の維持・拡大を目指す。	2,800	新規 農林水産課
8 竜洋東地区における農業基盤整備に着手 〔土地改良事業〕	農地所有者と耕作者が一丸となり、農地集積を推進しながら、国の認可を受け、県事業として20ヘクタール超の大規模な農業基盤整備に着手する。	7,000	新規 農林水産課
9 大学生インターンシップフェア、転職・再就職フェアの開催 〔地域雇用支援事業・産業人材確保支援事業〕	中小企業の人材不足の解消を図るとともに、本市の定住人口増を目指し、新たに大学生向けの相談会や、既卒3年以内や氷河期世代など、転職希望者や離職者に対する就職面接会を実施する。	1,157	経済観光課



5.次世代型農水産業の立地推進

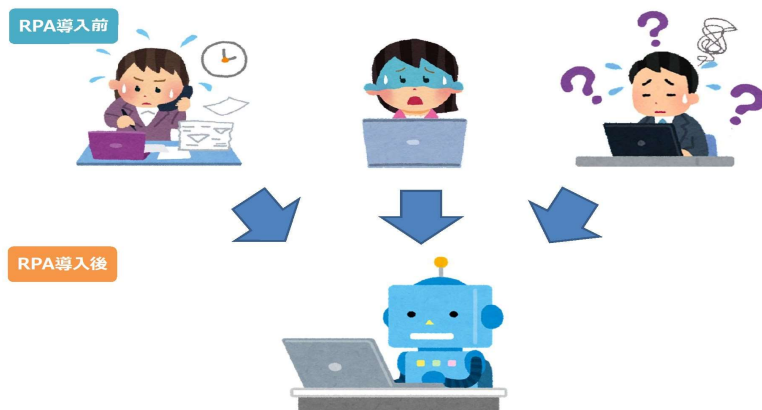


7.特産品（海老芋）承継事業の実施

その他の取り組み

(単位：千円)

項目	主な内容	予算額	所管
合併20年に向けた節目の15周年としての取り組み	<p>合併15周年を一つのきっかけとして、合併20年に向け、さらなる一体感の醸成を図るとともに、一層、磐田市に愛着と誇りを持ってもらえるよう、1年を通して様々な取り組みを進める。</p> <p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念ロゴによるPRとグッズの制作（広報広聴・シティプロモーション課） ・15周年記念 冠事業の公募（秘書政策課） ・15周年記念パレード（経済観光課） ・幸せの手持ち花火大会の開催（秘書政策課） ・こども議会の開催（学校教育課） ・磐田ガールズコレクション&イルミネーション（経済観光課） ・「人と自分に一日一善」推進事業の実施（地域づくり応援課） 		
再発防止対策の推進 〔コンプライアンス推進事業〕	<p>「公契約関係競売入札妨害事件に関する報告書」に基づき、服務規律の確保、倫理意識向上や不祥事を発生させない組織づくりを進める。</p> <p><主な取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスに係る第三者委員会の設置 ・コンプライアンスに関する職員研修の実施 	504	総務課
AI・RPAの本格導入 〔行政情報化推進事業・公立保育園等運営事務〕	<p>市民サービスの向上、働き方改革の実現、業務の効率化などを目的に、磐田市AI・RPA利活用基本方針に基づき本格導入を進める。</p> <p><導入予定業務等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙情報のテキスト化及び定型入力作業の自動化（AI-OCR） ・保育園の入園調整 ・会議録の自動作成 	16,142	情報政策課・幼稚園保育園課など



人の代わりにロボットが効率よく業務を代行

AI・RPAの本格導入

※ AI（アーティフィシアル・インテリジェンス）
…「人工知能」とも呼び、人間が持っている認識や推論などの能力をコンピューターでも可能するための技術の総称。

※ RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）
…データの取得、照合など、これまで人間が手作業で行っていた定型的なパソコン操作を自動化するもの。

問合せ先（令和元年度の所管課）

施 策 名	所 管 課	電話番号 (0538)
子育て支援・教育の充実		
○ながふじ学府一体校の建設推進・完成	教育総務課（学府一体校推進室）	37-2115
◎向陽学府一体校の基本構想・基本計画に着手	教育総務課（学府一体校推進室）	37-2115
◎みんなで考えよう食と学校給食「食ありがとう月間」	学校給食課（学校給食G）	37-4780
◎東部地区子育て支援センターの建設	こども未来課（こども支援G）	37-2012
◎里親への支援制度の創設	こども未来課（こども・若者相談センター）	37-2018
○産婦健診の助成回数の拡大	こども未来課（こども支援G）	37-2012
◎病児保育の開始	幼稚園保育園課（運営支援G）	37-2754
○こども園・小規模保育施設整備への補助	幼稚園保育園課（総務G）	37-4858
◎民間園の保育士宿舍借り上げ支援制度の実施	幼稚園保育園課（総務G）	37-4858
市民生活の安全・安心の確保		
◎豊田支所等の改修による防災拠点施設の整備	秘書政策課（資産経営準備室）	37-4828
○海岸堤防の整備推進	危機管理課（危機管理G）	37-2114
◎被災者生活支援補助制度の創設	危機管理課（危機管理G）	37-2114
○大島排水ポンプ場の整備推進	道路河川課（河川G）	37-4993
◎重度身体障害者・難病患者防災用具給付制度の拡充	福祉課（障害福祉G）	37-4919
◎高齢者の自動車急発進抑制装置設置への補助制度の創設	地域づくり応援課（地域安全・交通政策G）	37-4751
◎公会堂の長寿命化（改修）に対する補助制度の創設	地域づくり応援課（地域支援G）	37-4811
◎磐田市立総合病院 放射線治療器の更新	経営企画課（企画財務G）	38-5119
地域づくりの推進と福祉の充実		
○（仮称）磐田市文化会館の建設工事の推進	文化振興課（文化振興G）	35-6861
◎（仮称）竜洋西会館の建設	地域づくり応援課（地域支援G）	37-4811
◎東京2020オリンピック・パラリンピック関係イベントの実施	スポーツ振興課（スポーツ戦略室）	37-2116
○ジュビロ磐田アウェー戦応援バスツアーの実施	スポーツ振興課（スポーツ振興G）	37-4832
◎終活おうえん窓口の開設	広報広聴・シティプロモーション課（市民相談センター）	37-4746
◎75歳以上の方への人間ドック助成制度の創設	健康増進課（健康支援G）	37-2011
◎乳がん検診の対象年齢の拡大	健康増進課（健康支援G）	37-2011
◎骨髄移植ドナーへの助成制度の創設	健康増進課（健康支援G）	37-2011
◎高齢者の補聴器購入助成制度の創設	高齢者支援課（地域包括ケア推進G）	37-4831
◎認知症高齢者等の損害賠償責任保険制度の導入	高齢者支援課（地域包括ケア推進G）	37-4831
産業の育成と都市基盤の整備		
◎今之浦市有地・今之浦公園の一体的な公園整備	都市整備課（公園緑地G）	37-4806
○新東名磐田スマートICの設置推進	都市整備課（工事G）	37-7174
○旧クリーンセンター跡地の公園整備の推進・完成	ごみ対策課（施設管理G）	35-3717
◎磐田市情報館のリニューアル	広報広聴・シティプロモーション課（シティプロモーション推進G）	37-2275
○次世代型農水産業の立地推進	産業政策課（企業立地推進G）	37-4904
◎「未来の農業」連携懇話会の設置	農林水産課（農林水産振興G）	37-4813
◎特産品（海老芋）承継事業の実施	農林水産課（農林水産振興G）	37-4813
◎竜洋東地区における農業基盤整備に着手	農林水産課（基盤整備G）	37-4813
○大学生インターンシップフェア、転職・再就職フェアの開催	経済観光課（雇用促進G）	37-4819
その他の取り組み		
合併20年に向けた節目の15周年としての取り組み	秘書政策課（政策・行革推進G）	37-4805
再発防止対策の推進	総務課（総務・統計G）	37-4803
A I・R P Aの本格導入	情報政策課（政策推進G）	37-4818

15周年をお祝いしよう♪

がっぺいっ!!

